

住宅火災を防ぐため もう一度確認 7つのポイント

これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。タバコや暖房器具など火災の原因はさまざま、ちょっとした不始末や不注意で火災が発生します。そこで、住宅火災を防ぎ、いのちを守るためにも7つのポイント(3つの習慣と4つの対策)をもう一度確認しましょう。

お問い合わせは予防課 459-7803(直通)へ

11月9日～15日は秋季全国火災予防運動期間

「その火事を防ぐあなたに 金メダル」

(2020年度全国統一防火標語)

いのちを守る7つのポイント

3つの習慣

①寝たばこはしない

タバコの火は、消したつもりでも完全に消えていないことがあり、寝ているときに起きた火災は、気づくのが遅れ避難ができなくなることがあります。寝たばこは絶対にやめましょう。また、吸い殻は完全に消えていることを確認してから捨てましょう。



②ストーブに燃えやすいものを近づけない

カーテンや洗濯物がストーブに触れて、火災になることがあります。燃えやすい物の近くでは、絶対にストーブを使用しないようにしましょう。また、給油するときには必ず火を消しましょう。



③ガスコンロから離れるときは必ず火を消す

不意の電話や来客などでコンロの火を付けたまま放置すると油などが過熱して火災になるケースがあります。コンロのそばから離れるときは必ず火を消しましょう。また、コンロ周辺にフキンや箸など燃えやすいものを置かないようにしましょう。

4つの対策

①住宅用火災警報器を設置しましょう



住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して警報音で知らせてくれます。いち早く火災の発生を知ること、初期消火や避難行動をとることができます。

②防災品を使用しましょう

防災ラベルがついている製品は、直接火が触れても容易に燃え上がらず、火が付いても燃え広がりにくい性質をもっています。火災を防ぐためにも、防災品を使用しましょう。



③住宅用消火器を設置しましょう



天井に火がとどくまでが初期消火の限界と言われています。この間に消火ができれば、延焼拡大を食い止めることができます。いち早く初期消火ができるよう消火器を設置しましょう。住宅用消火器は、一般家庭向きに開発され、軽量で誰でも簡単に使用できます。

④近所で助け合いましょう

火災時に一人でできることは限られます。いざという時のために、家族や近所の人と地域の訓練に参加するなど、普段から話し合いの場をつくり、近隣住民同士で連携して、高齢者や体の不自由な人を火災から守りましょう。



予防課からのお知らせ

消毒用アルコールの取り扱いにご注意を

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、消毒用アルコールを使用する機会が増えています。アルコールは火気により引火しやすく、アルコールから発生する可燃性蒸気は、低いところにたまりやすいなど、取り扱いに注意する必要があります。火災予防上の一般的な注意事項を守り、安全に使用してください。



▲消毒用アルコールは原則として火気厳禁です

火災予防上の一般的な注意事項

- ①火気の近くで、使用しないようにしましょう。
- ②室内の消毒や容器に詰め替えるときは、十分な換気を行い、密閉した室内での多量な使用は避けましょう。
- ③直射日光が当たる場所や高温となる場所を避けて設置、保管しましょう。
- ④容器に詰め替えるときは、漏れ、あふれまたは飛散に注意しましょう。



あなたのおうちの防火チェック

住宅火災の予防に気をつけたいポイントを右のようにまとめました。日々の安全な暮らしのため、あなたのおうちの防火チェックを行いましょ。

詳しくは、市ホームページや消防署で配布しているリーフレットでも確認できます。



たばこ	寝たばこはしていませんか。 吸い殻の火は完全に消してから捨てていますか。 灰皿の周りに燃えやすいものを置いていませんか。	
暖房器具	近くにカーテン等はありませんか。 洗濯物の乾燥などに使っていませんか。 近くに衣類や本などの燃えやすいものを置いていませんか。	
こんろ	こんろの周りに燃えやすいものを置いていませんか。 ひび割れたガスホースを使用していませんか。 電話や来客によりこんろから離れるときは、必ず火を消していますか。	
住宅用火災警報器	住宅用火災警報器を設置していますか。 住宅用火災警報器の設置場所は間違っていますか。 住宅用火災警報器の作動確認を月1回程度、行っていますか。	
電気器具	電気コードを踏みつけたり、物の下敷きになっていませんか。 タコ足配線をしていませんか。 コンセントプラグの周辺にホコリが溜まっていませんか。	
放火対策	家の周りに燃えやすいものを置いていませんか。 物置等は施錠していますか。	
その他	マッチやライターは、子供の手の届かないところに保管していますか。 住宅用消火器は設置していますか。 寝具、衣類及びカーテンに防災製品を使っていますか。 地域で行われる防火・防災訓練に参加し協力体制を築いていますか。	